

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> ・アートの理解に必要な歴史的背景やモチーフ・技法・展示方法などを適切に用いることができる ・社会課題や哲学的言説について理解し、アートと関連させて説明することができる 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> ・アートを見て感じ取ること（＝感性）を通して社会課題を多角的にクリティカルに捉え、自分の考えを構築することができる ・物事に一つの解答を求めるのではなく、複雑なまま受け入れて熟考することができる ・自分自身の価値観やモノの見方を俯瞰し、他との関係性のなかで相対的に意味づけることができる 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身を通して自由に世の中を捉えることで、自分の未来の可能性を開いていくことができる ・他者の表現や言説を自分の価値観に照らして、主体的に想像することができる ・作家が内省を突き詰めて作品と対峙することを追体験することで、内在する自己の有りように向き合う姿勢を身につける 	
下位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> ①アート思考と論理思考の違いを理解し、用語として使い分けすることができる。 ②対話型鑑賞や作品分析に必要な情報を集め、目的に応じて選択することができる。 ③アートにまつわる哲学的言説や時事、歴史的事実などについて自分の言葉で語るすることができる。 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> ①アートとそうでないものとの違いについて鑑賞者と作品との相対性やコンテキストによる関係性を意識して考察することができる。 ②一つのアート作品についての情報を総合し、自分なりの分析を施すことができる。 ③アートプロジェクトや文化政策、パブリックアート等を通してアートに関わる社会課題について推察し見通すことができる。 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> ①より多くのアート作品や文献に触れようとするすることができる。 ②一つの作品やプロジェクトに関する学びに対して時間をかけることができる。 ③自らの考えを昇華させるために、他者とアートについて語り、互いの価値観を認める姿勢を身につける。 	

授業日	2/15(木)	3学期授業回数	行事												
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】②③ 【思考力・判断力・表現力】②③【学びに向かう力・人間性】②③ 本時の具体的な目標 ・ アートを学んでいない生徒に対して自分たちの探究の観点や思考のプロセスを理解してもらすることができる ・ 自分の発表を通して自らの学びをメタ認知し、今後の探究のヒントを得ることができる														
時間 授業内容	5時間目 6時間目	探究五科目の授業を受ける生徒からプレゼンテーションやワークショップを受ける。 アートは、①地域におけるアートの機能、②アートについて考えたこと、③対話型鑑賞と具体美術協会、をテーマに4つのグループに分かれて発表をした。それぞれの学びについて李深められたところと、まだまだ理解の追いついていないところが明らかになった。													
評価方法	リフレクションシートの提出によって以下の観点で評価する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">観点1</td> <td>発表の内容を的確に捉えて、内容を正確に把握することができるか。</td> </tr> <tr> <td>観点2</td> <td>自身の探究の切り口や考察の方法を言語化できるか。</td> </tr> <tr> <td>観点3</td> <td>発表の内容や手法に対して具体的な事柄にふれつつ、十分に考察することができているか。</td> </tr> <tr> <td>観点1</td> <td>各発表の内容を的確に捉えて、内容を正確に把握することができるか。</td> </tr> <tr> <td>観点2</td> <td>他者の探究の切り口や考察の方法を自身と比較し、異なる点を見出して言語化できるか。</td> </tr> <tr> <td>観点3</td> <td>発表の内容や手法に対して具体的な事柄にふれて、適切なアドバイスや疑問を提示できるか。</td> </tr> </table>			観点1	発表の内容を的確に捉えて、内容を正確に把握することができるか。	観点2	自身の探究の切り口や考察の方法を言語化できるか。	観点3	発表の内容や手法に対して具体的な事柄にふれつつ、十分に考察することができているか。	観点1	各発表の内容を的確に捉えて、内容を正確に把握することができるか。	観点2	他者の探究の切り口や考察の方法を自身と比較し、異なる点を見出して言語化できるか。	観点3	発表の内容や手法に対して具体的な事柄にふれて、適切なアドバイスや疑問を提示できるか。
観点1	発表の内容を的確に捉えて、内容を正確に把握することができるか。														
観点2	自身の探究の切り口や考察の方法を言語化できるか。														
観点3	発表の内容や手法に対して具体的な事柄にふれつつ、十分に考察することができているか。														
観点1	各発表の内容を的確に捉えて、内容を正確に把握することができるか。														
観点2	他者の探究の切り口や考察の方法を自身と比較し、異なる点を見出して言語化できるか。														
観点3	発表の内容や手法に対して具体的な事柄にふれて、適切なアドバイスや疑問を提示できるか。														
宿題指示	リフレクションシートを完成させてくる。 アートの知識確認テストの準備をしてくる。														

授業日	2/20(火)	3学期授業回数	5回目 / 全5回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】②③ 【思考力・判断力・表現力】②【学びに向かう力・人間性】① 本時の具体的な目標 ・ アートに関する基本的な知識を定着させることができる。 ・ 今年度に学んだアートの概念を変えた作品と作家の史的意義を理解することができる。		
時間 授業内容	5時間目 6時間目	アートテストの勉強と基本的事項の確認 ウェブテストによるアートテストの実施	
評価方法	アートテストの点数（100点満点）		
宿題指示	ピアティーチングの質問に対する答えを考えておく		